

株式会社サンリツ 会社説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

2023年9月30日

東証スタンダード
【証券コード：9366】



1. 会社概要	P2
2. 業績推移	P8
3. 新中期経営計画	P12
4. サステナビリティへの主な取り組み	P24
5. 株主還元	P29
6. Appendix	P33

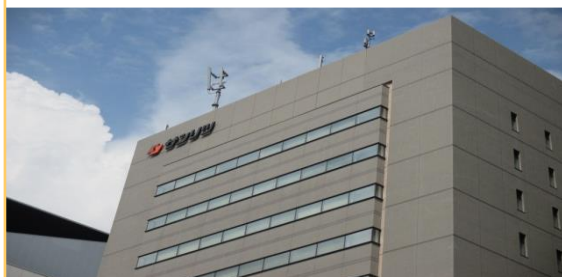
1. 会社概要



1-1. 会社概要

社名	株式会社サンリツ
設立	1948年3月 (2023年 創業75年)
本社	東京都港区港南2-12-32
資本金	2,523百万円
売上高	20,335百万円(2023年3月期 連結)
従業員数	428名(2023年3月末 連結)
主要拠点	関東を中心に14拠点
連結子会社	国内1社、海外2社 (中国/米国)
決算期	3月
上場	東京証券取引所 スタンダード市場

賃貸ビル事業



事務所及び共同住宅の
賃貸

倉庫事業

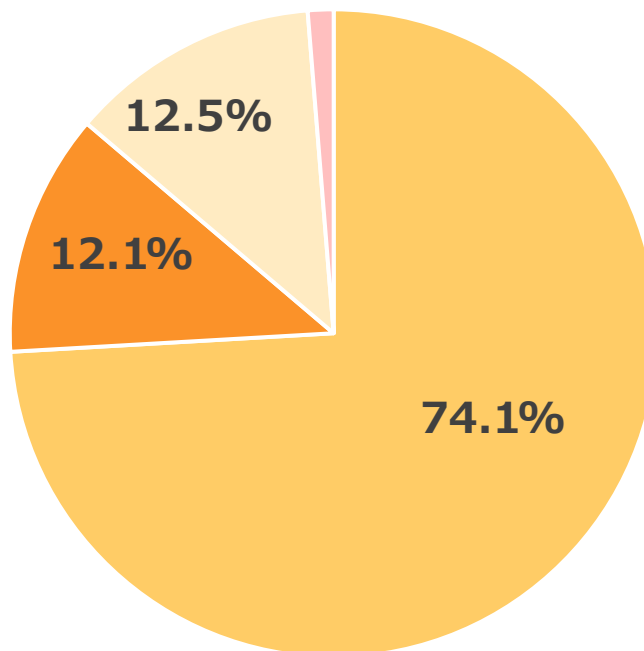


保管、入出庫及び賃貸
・空調や高ルクス照明などの設備を
有し各取扱製品に最適な倉庫オペ
レーションを提供

梱包事業を軸とした 売上構成

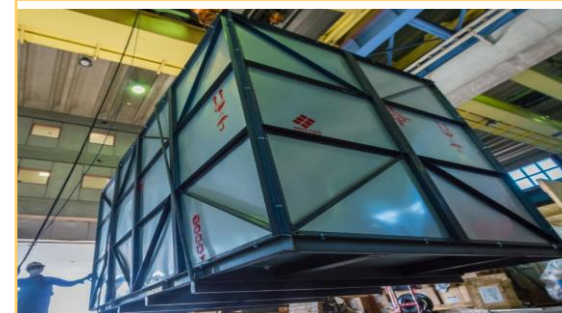


1.3%



セグメント別 売上割合
2023年3月期

梱包事業



梱包及び木箱製造等
・小さな精密機器から超重量貨物ま
での梱包を多岐にわたり対応

運輸事業

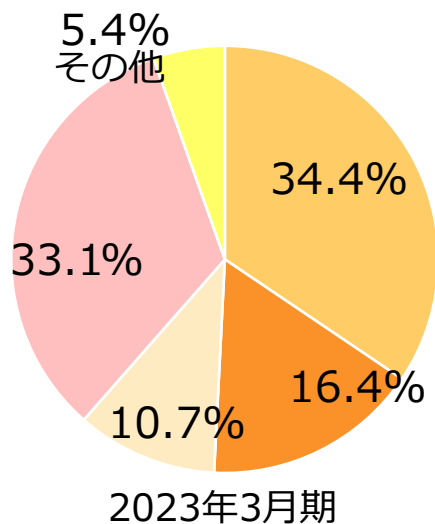


トラック輸送
・精密機器、電機通信機器、計測器、
医療機器などエレクトロニクス関連の
製品を中心に環境に配慮した効率的な
配送

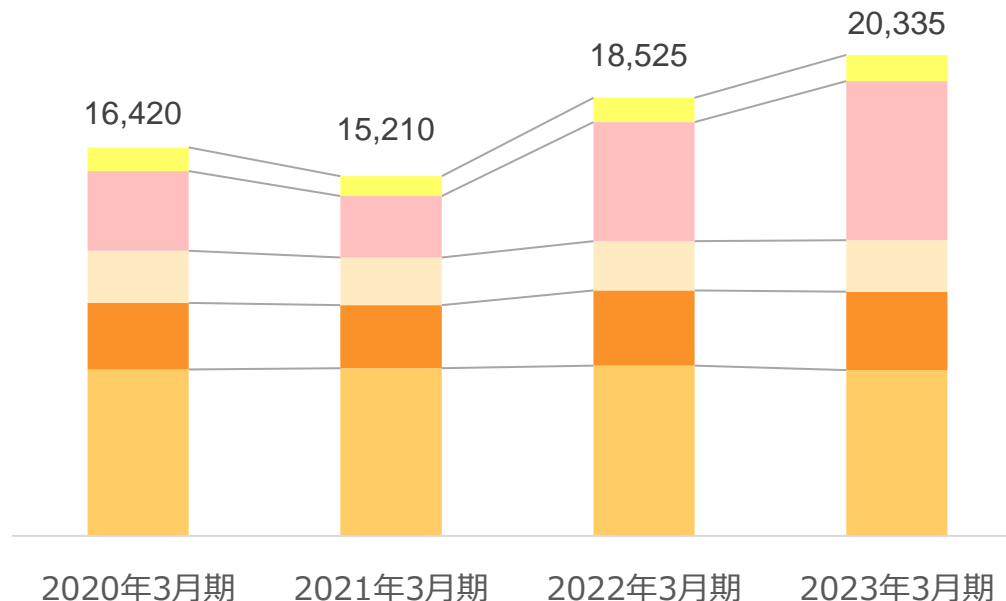
梱包技術を生かせる取扱製品群に注力

(百万円)

取扱製品群別売上構成比



取扱製品群別売上高推移



小型精密機器

計測器、電子部品、各種パーツ

大型精密機器

無線通信機器、半導体製造装置等

医療機器

カテーテル、ペースメーカー、CT、MRI等

工作機械

マシニングセンタ、金属加工機器等

高い梱包技術を持った**総合物流会社**として事業領域を拡大

国際物流

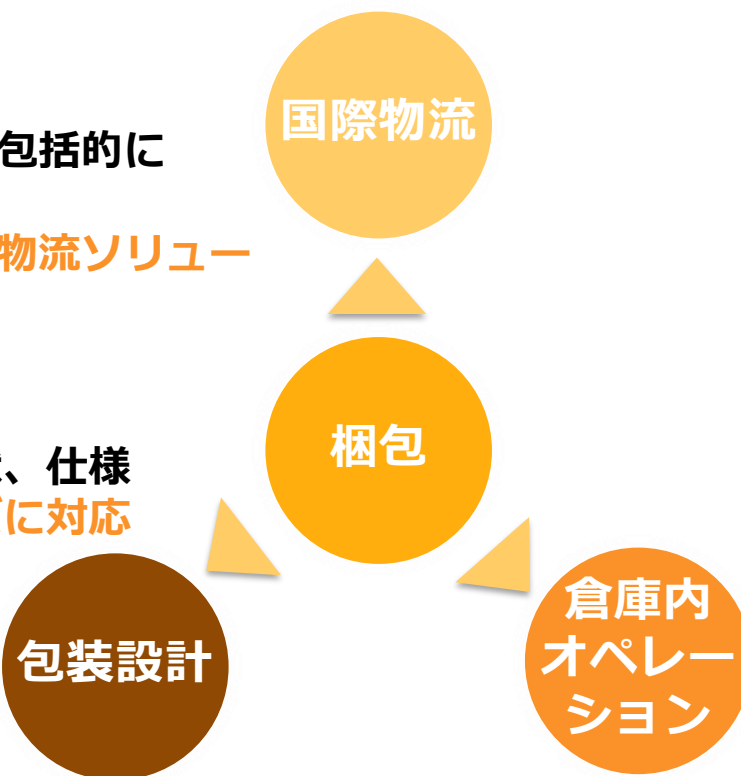
- 保税蔵置場に梱包工場を併設
- 工場引取から現地輸送まで、国境を越えて**自社一貫サポート**
- 日中米すべての拠点が**自社物流ライセンス**をもとにオペレーション

倉庫内 オペレーション

- 物流改革の提案を行い、物流業務を包括的に引受ける**4PL事業を展開**
- 顧客のビジネスが機能するベストな**物流ソリューション**を提供

包装設計

- 製品の形状・特性に応じた**包装形状、仕様**をオリジナル設計し、**顧客のニーズに対応**
- **ワールドスター賞**などコンテスト受賞歴あり



他の競合他社を凌駕する**高物流品質**で、企業間物流をターゲットとしビジネス展開を行う

① 工作機械の梱包
を行う大型設備を
保有



- ・日・米の拠点において大型設備を保有
- ・自社物流ライセンスで国際物流を展開

② 精密機器・医療
機器物流のスペシャ
リスト



- ・製品の付加価値が高い
- ・扱いがデリケート
- ・一品一様製品

③ 梱包分野において
差別化



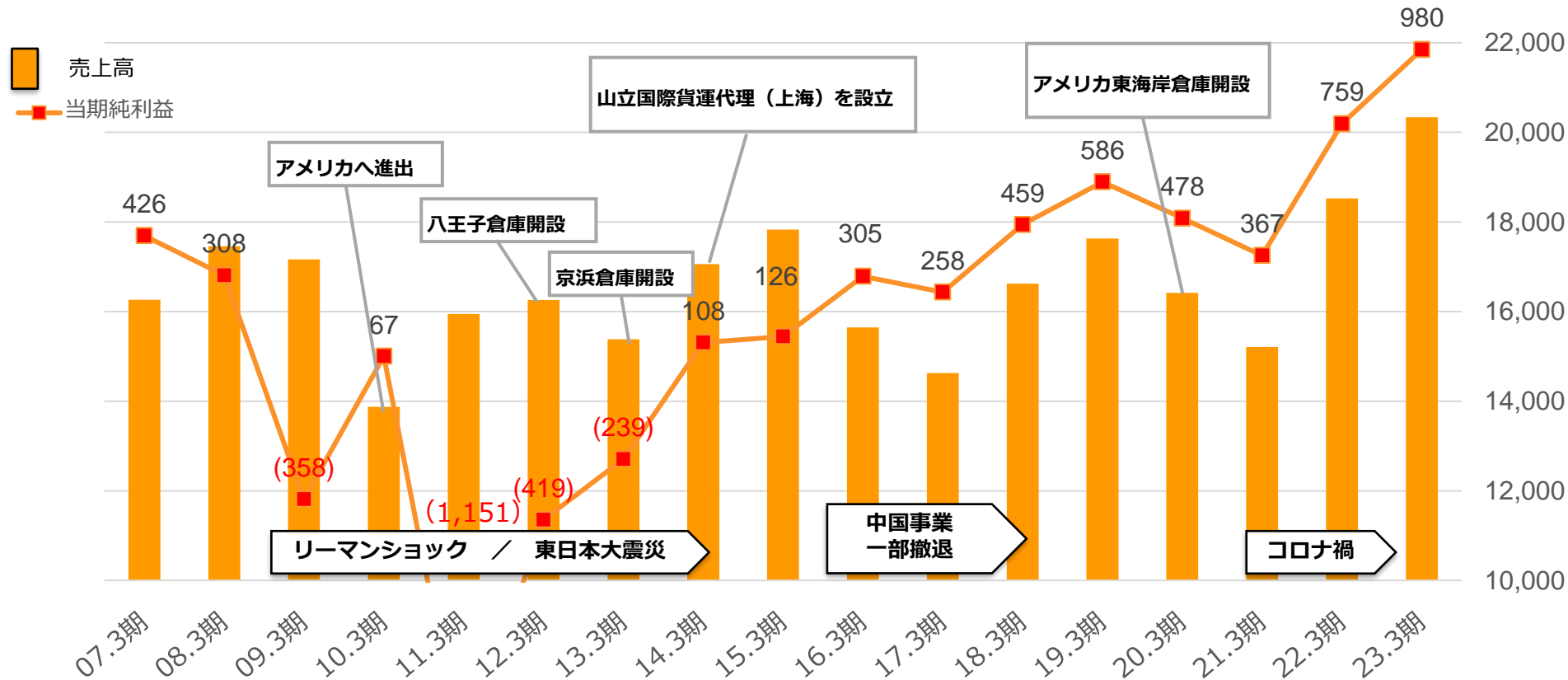
- ・物を壊れないように
守り抜く技術に強み

2. 業績推移と振り返り

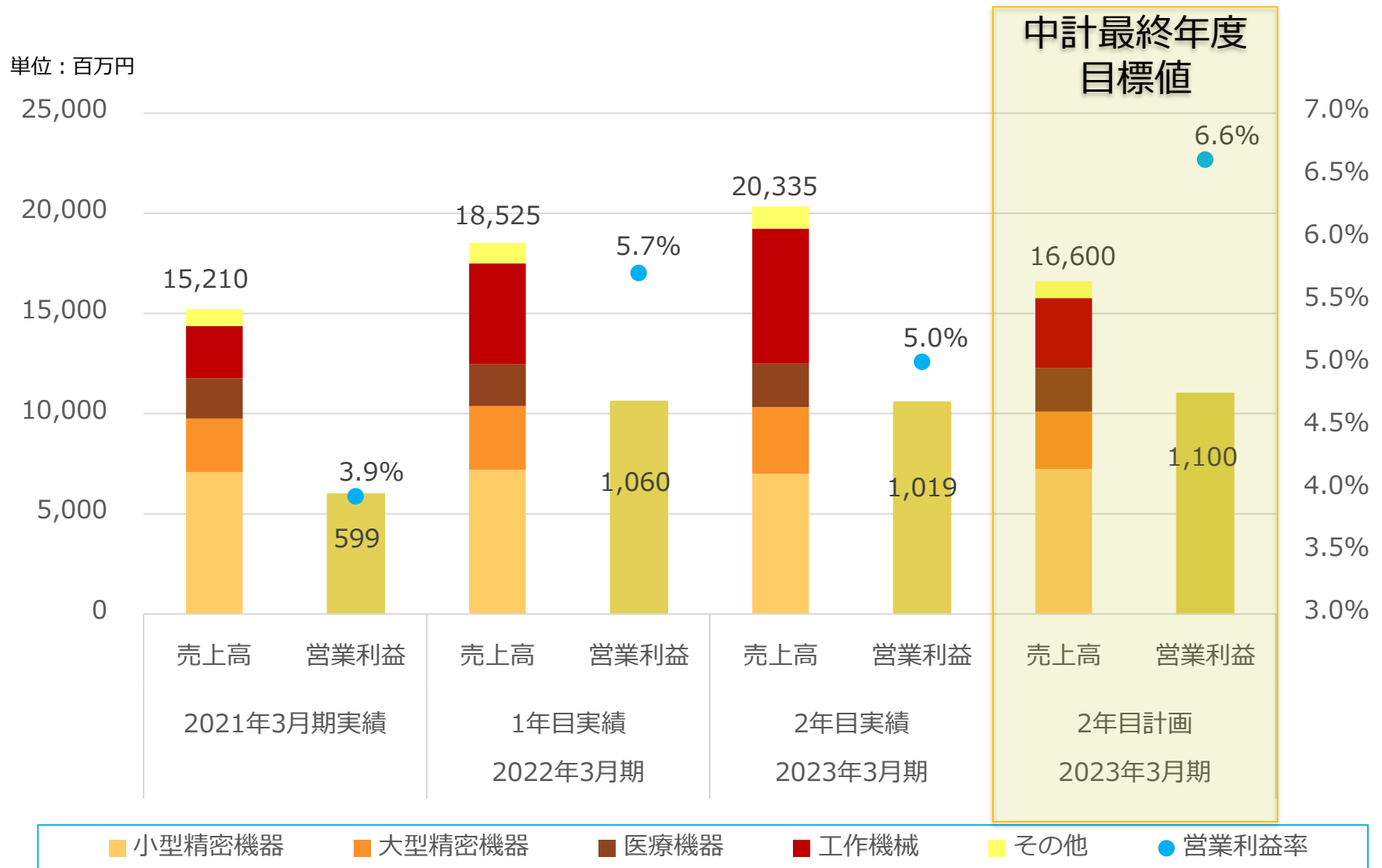


2023.3月期 売上高200億円突破 過去最高益達成

(単位：百万円)



・ 売上高は目標値を**達成**したものの、営業利益及び営業利益率は**未達**



2-2-2. 前中計の振り返り(新中期経営計画に向けて)

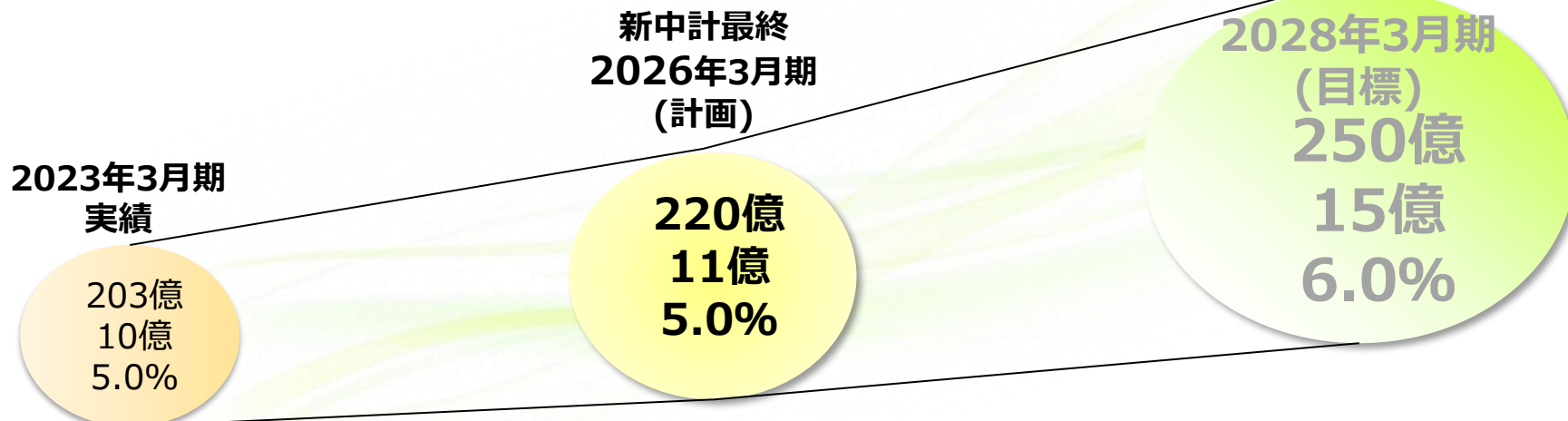
総括

- ・ 外部環境が好況であったことに加え、人手が足りなかった中でもオペレーションを確実に遂行出来たため、売上高は目標値を達成したものの、原材料高騰による材料費の値上りや人材確保を積極的に行ったことにより、販管費が増加したため、利益率は未達となった。



今後の取組み

- ・ 新中計では、人件費等の増加及び外部環境により取扱量が減少しても耐えうるよう、利益を確保できるビジネスを構築し、利益率の向上を図るためにも、ソリューションの実現を引き続き目指していく。
- ・ 80周年を迎える2028年3月期の営業利益率は6.0%を目標とし、今回発表の計画では営業利益率5.0%と定める。



3. 新中期経営計画



オペレーションから ソリューションへ

『ソリューション』

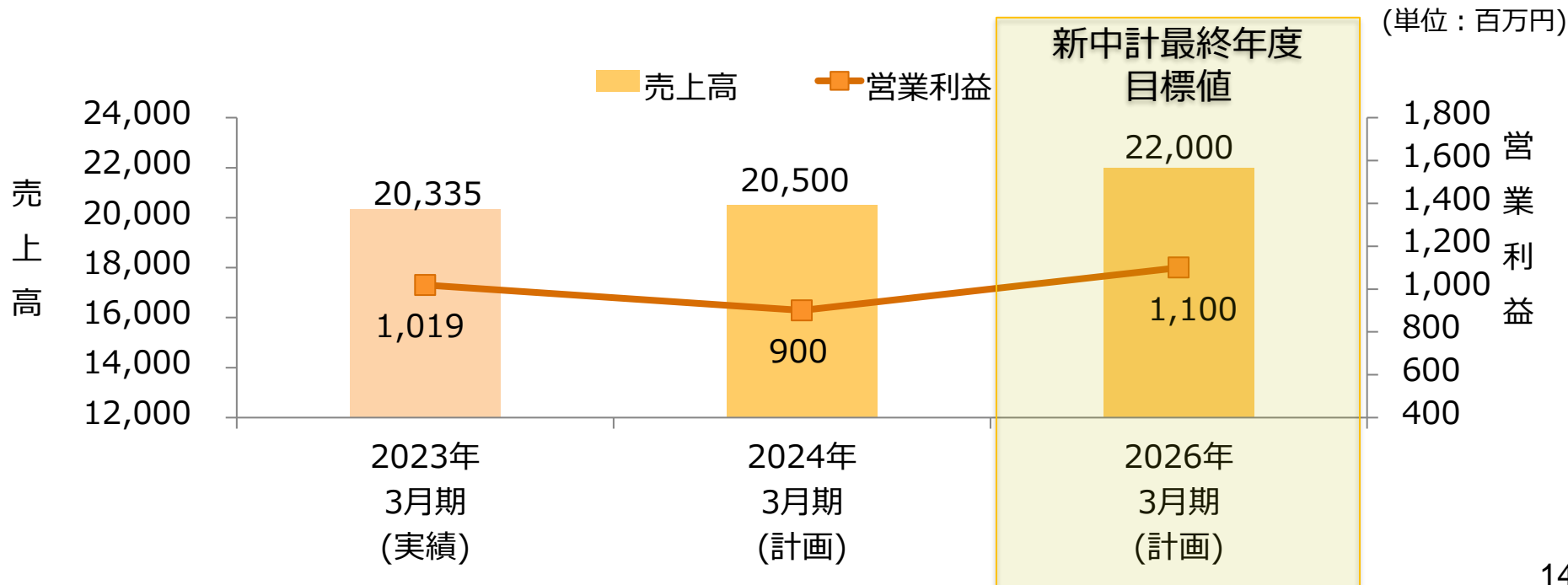
お客様との対話を繰り返すことで、今まで引き出せなかったニーズだけでなく、お客様さえ気づいていない真のニーズを引き出し、解決する「ソリューション」の力を身に着けていく。

3-1-2. 新中期経営計画の概要(経営目標)

2026.3 売上高	22,000 百万円
伸び率	8.2%
2023.3 売上高	20,335百万円

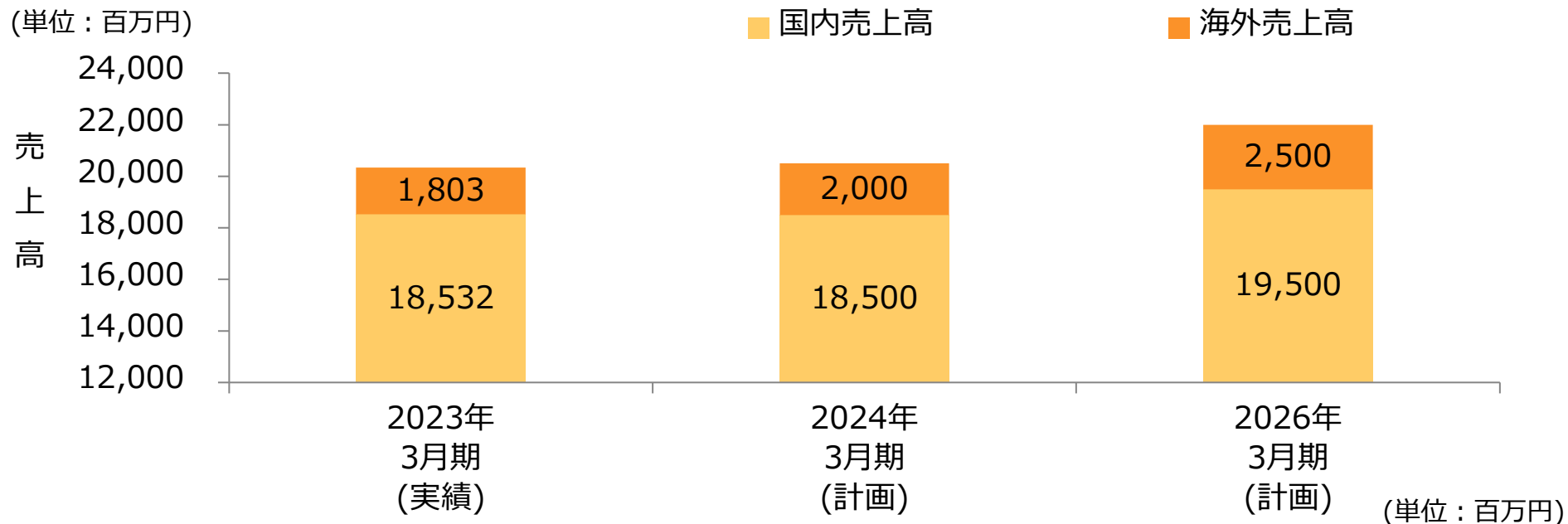
2026.3 営業利益	1,100 百万円
伸び率	7.9%
2023.3 営業利益	1,019百万円

2026.3 営業利益率	5.0%
伸び率	—
2023.3 営業利益率	5.0%



3-1-3. 新中期経営計画の概要(国内海外比較)

・重要指標：2026年3月期 営業利益率5.0%



連結	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (計画)	2026年3月期 (計画)
売上高	20,335	20,500	22,000
国内	18,532	18,500	19,500
海外	1,803	2,000	2,500
営業利益	1,019	900	1,100
国内	907	720	880
海外	112	180	220
営業利益率	5.0%	4.4%	5.0%

【成長戦略】

1. シームレスな国際一貫物流サービスを推進し、輸出入案件の拡大
・ 米国で培ったノウハウを欧州へ展開
2. 顧客理解深化によるソリューション提案
・ ソリューション営業戦力を増強し、選ばれるパートナーへ
3. 成田地区の事業拡大
・ 滑走路の延伸計画を受け、2026年に新倉庫稼働を目指す

【設備投資】

◆ 設備投資 3年総額75億円

国内：物流DX	5億円
サステナビリティ	5億円
更新・設備投資	5億円
成田地区新倉庫	50億円
海外：欧州進出	10億円

【収益性向上】

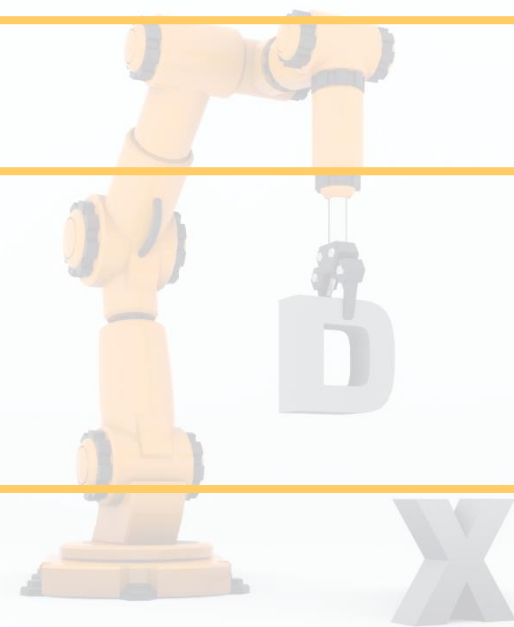
1. 取引採算の向上
 - ・ 事業環境等を勘案し、サービスの適正価格を追求
2. 米国西海岸の新倉庫の安定稼働
 - ・ 米国内輸送の一貫物流サービスの早期構築

【DX戦略】

1. 省力・省人化で5%相当の労働力の創出を目指す
 - ・ デジタル化による標準化・見える化の推進
 - ・ 自動化による簡素化・効率化の推進
 - ・ AI活用による最適化・全社共通化の推進

【サステナビリティ】

1. 顧客と連携し、環境にやさしい梱包、輸送の提案、推進



【人材育成戦略】

1. ソリューション推進人材の確保及び育成
2. 梱包スペシャリスト人材の増強

【サステナビリティ】

1. ダイバーシティ&インクルージョンの推進
 - ・女性活躍の環境整備
2. 職場環境の整備及び向上
 - ・安全・安心で働きがいのある職場環境の実現



増収減益

- ・ 日本経済：物価上昇の影響もあり輸送量は軟調に推移
- ・ 国際貨物：航空輸送貨物の大幅な減少
- ・ 積極的な人材確保など事業運営の基盤強化

(単位：百万円)

	2023.3期	2024.3期 予想	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	20,335	20,500	+165	+0.8%
営業利益 (営業利益率)	1,019 (5.0%)	900 (4.3%)	▲119	▲11.7%
経常利益 (経常利益率)	1,203 (5.9%)	850 (4.1%)	▲353	▲29.3%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	980 (4.8%)	560 (2.7%)	▲420	▲42.9%
ROE (自己資本利益率)	10.1%	5.2%	▲4.9pts	—
1株当たり 当期純利益(円)	175.56	99.94	▲75.62	▲43.1%
1株当たり配当(円)	50	29	—	—

【参考】 ◆設備投資 23.3期実績 14.4億円 24.3期予想 10.7億円
 ◆減価償却 23.3期実績 7.2億円 24.3期予想 8.0億円

【参考】2024年3月期第1四半期 決算概要



(単位：百万円)

	2023.3期 1Q	2024.3期 1Q	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	4,888	4,662	▲226	▲4.62%
売上原価 (売上原価率)	3,886 (79.5%)	3,689 (79.1%)	▲197	▲5.08%
売上総利益 (売上総利益率)	1,001 (20.5%)	972 (20.9%)	▲28	▲2.86%
販管費 (販管費率)	736 (15.1%)	829 (17.8%)	+93	+12.64%
営業利益 (営業利益率)	264 (5.4%)	142 (3.1%)	▲121	▲46.01%
経常利益 (経常利益率)	317 (6.5%)	218 (4.7%)	▲99	▲31.42%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	185 (3.8%)	151 (3.2%)	▲33	▲18.18%
1株当たり 当期純利益(円)	32.82	27.49	▲5.33	▲16.24%

◆売上高：減収/営業利益：減益

- ・ 前期好調に推移していた工作機械の取扱いが大幅に減少したことにより減少
- ・ 電気代の高騰及び、事業基盤強化のため、人材の確保を積極的に行ったことにより、販売費及び一般管理費が増加したことで減益

取扱製品群別

(単位：百万円)

取扱製品群		2023.3期 1Q	2024.3期 1Q	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	小型精密機器	1,671	1,605	34.4%	▲66	▲3.9%
	大型精密機器	765	762	16.4%	▲3	▲0.3%
	医療機器	517	497	10.7%	▲20	▲3.8%
	工作機械	1,637	1,542	33.1%	▲95	▲5.8%
	その他	296	253	5.4%	▲43	▲14.5%
	合計	4,888	4,662	100.0%	▲226	▲4.6%

◆小型精密機器：減収

- ・海上輸送へのシフトに伴う航空輸送の大幅な減少により減収。

◆大型精密機器：横ばい

- ・全体を通して取扱いが堅調に推移したことでほぼ横ばい

◆医療機器：減収

- ・一部顧客の出荷減が響き、主に輸送が減少したことにより減収

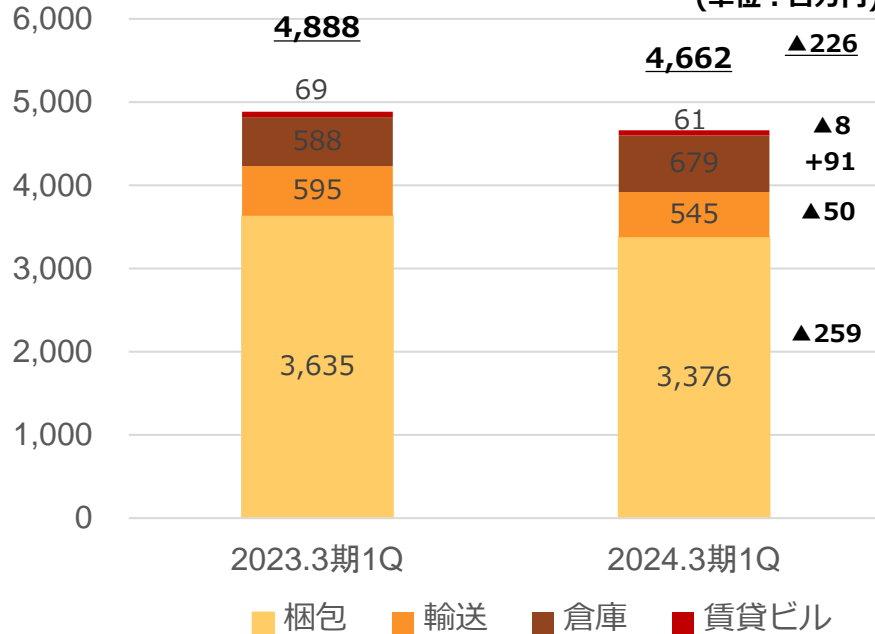
◆工作機械：減収

- ・復調した取扱い量が大幅に減少したことにより減収

セグメント別

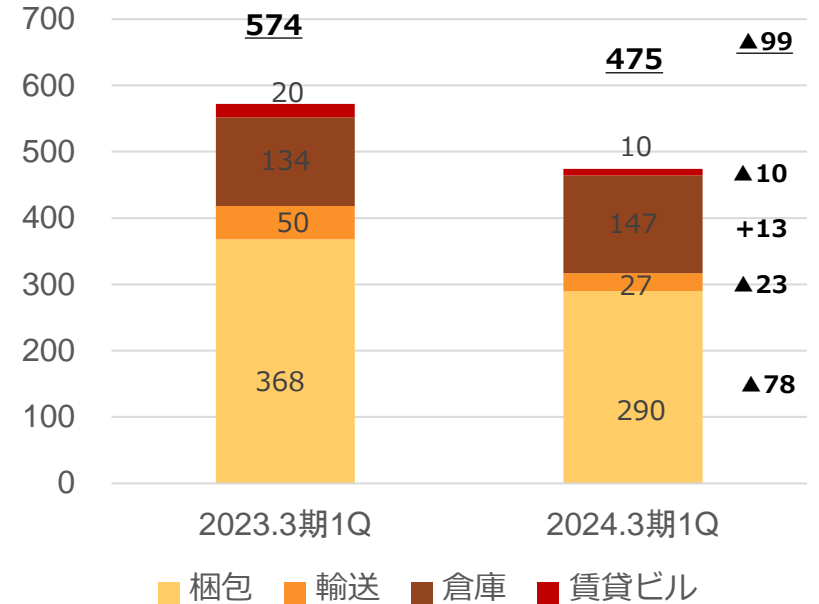
連結売上高

(単位：百万円)



連結セグメント利益

(単位：百万円)



◆梱包事業：減収減益

- ・前期好調に推移していた工作機械の取扱いが大幅に減少したため、売上高は減少
- ・積極的人材確保による販売費及び一般管理費が増加したため、減益

◆運輸事業：減収減益

- ・工作機械及び医療機器の取扱いが減少したことに加え、外注費の値上がり分を価格転嫁交渉を行ったものの、十分に補えず減収減益

◆倉庫事業：増収増益

- ・半導体製造装置の取扱いが増加したことで、売上高・利益ともに増加。

地域別売上高

(単位：百万円)

	2023.3期 1Q	2024.3期 1Q	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
日 本	4,622	4,156	89.1%	▲465	▲10.0%
中 国	38	115	2.4%	+76	+197.2%
米 国	373	462	9.9%	+88	+23.7%
内 部 取 引 等	▲146	▲72		+74	
合 計	4,888	4,662	100.0%	▲226	▲4.63%

◆日本：減収

- ・ 前期好調に推移していた工作機械の取扱いが大幅に減少したことにより減収

◆中国：増収

- ・ 梱包・輸送の大型案件獲得により大幅に増収

◆米国：増収

- ・ 海上輸送の安定に加え、顧客の生産が堅調に推移したため増収

4. サステナビリティへの 主な取組み



サステナビリティ基本方針の策定

— サステナビリティ基本方針 —

サンリツグループは、「美しく魅力のある会社サンリツの実現を目指します」との企業理念を踏まえ、誠実な事業活動を通じて、社会の持続的成長に貢献します。

- 1 「経営品質の向上」のため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいきます。
- 2 物流の課題をソリューションすることで、新しい価値を創造します。
- 3 すべての人々の人権を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。
- 4 安全・安心で働きがいのある職場環境を実現していきます。
- 5 お取引先様、従業員、株主、地域の皆様等のステークホルダーと積極的にコミュニケーションを取ることで、「物流品質の向上」につなげていきます。

4-1-2. サステナビリティへの主な取り組み



世界包装機構主催のパッケージングコンテストにおいて、 ワールドスター賞を受賞!!

	受賞歴
2023年	世界包装機構主催 World Star 2023 ワールドスター賞 受賞 『工数削減・環境負荷低減を目的とした緩衝スペーサーの開発』
2022年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞
2021年	Good Packaging 工業包装部門賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2021 ワールドスター賞 受賞
2019年	Good Packaging 輸送包装部門賞 受賞
2018年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞 アジア包装連盟主催 Asia Star Winner2018 アジアスター賞 受賞
2017年	Good Packaging テクニカル包装賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2018 ワールドスター賞 受賞
2016年	Japan Star 経済産業省産業技術環境局長賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2017 ワールドスター賞 受賞
2014年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞
2013年	Good Packaging ロジスティクス賞 受賞
2012年	Good Packaging 医薬品・医療品包装部門賞 受賞
2011年	Good Packaging 電気・機器包装部門賞 受賞
2010年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞
2009年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞

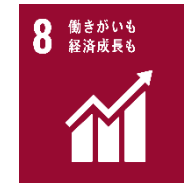
2023年 ワールドスター賞 受賞作品



受賞歴

- World Star賞
4回
- Asia Star賞
1回
- Japan Star賞
1回
- Good Packaging賞
11回

【ダイバーシティPTの立ち上げ】



1. 女性従業員へのヒアリング

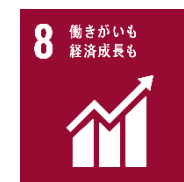
- ・ 人事制度、設備、会社の文化の3つの切り口から提案

2. 女性交流イベントの企画

- ・ 女性活躍の場面を見る、知る機会の創出

【職場環境アンケートの実施】

1. アンケート結果をもとに設備の導入・環境の整備



十分な休憩室がなかった豊田事業所に
空調完備の休憩室を設置



スポーツ振興 ～サンリツ女子卓球部～

◆概要

- ・卓球部を1979年に創設
- ・日本卓球リーグ女子1部に所属

◆直近の主な戦績

- ・日本卓球リーグプレーオフ JTTLファイナル4（内閣総理大臣杯）**優勝**

◆卓球を通じた交流

- ・スマイル卓球教室を開催し、選手による指導やチャレンジマッチを通して学生や地域の方と交流を行っております。
- ・サンリツ京浜事業所内にて、「第一回サンリツ・三浦杯 小学生卓球大会」を開催いたしました。



三浦杯 小学生卓球大会

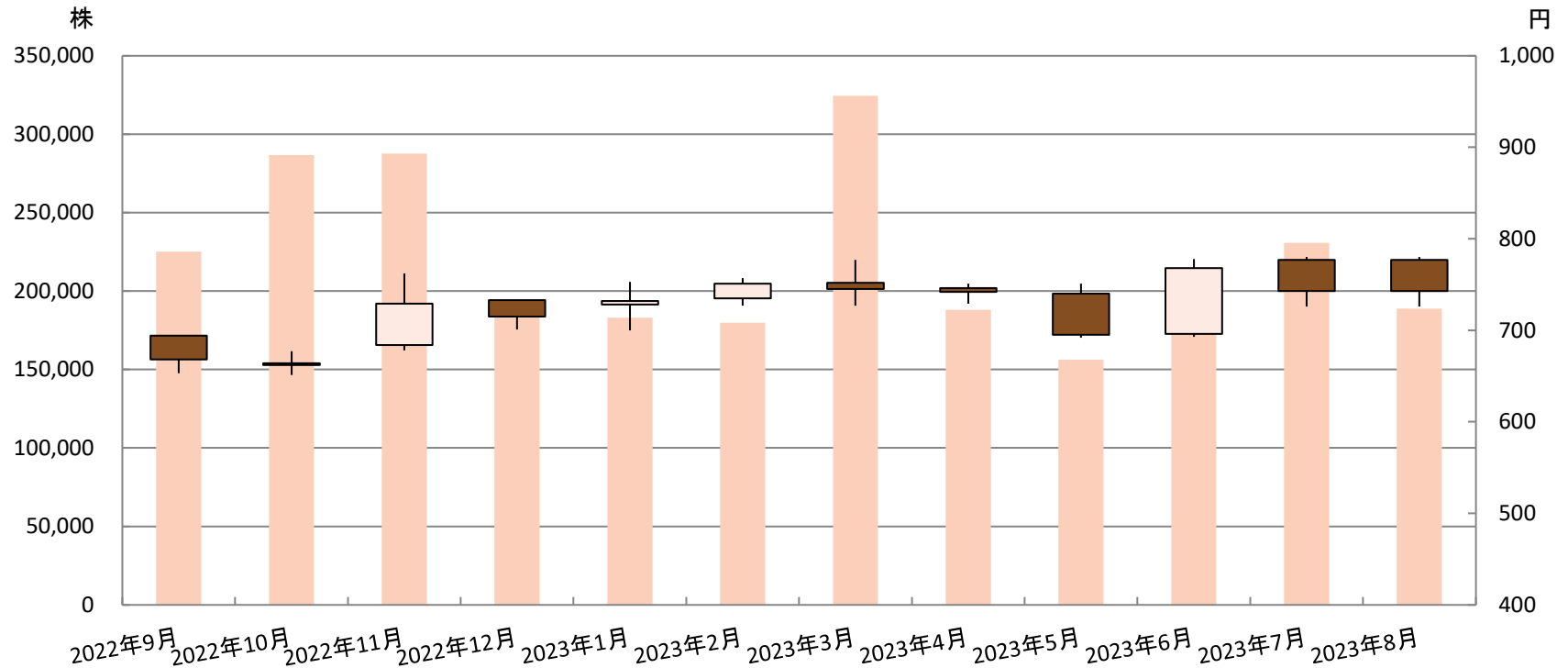


スマイル卓球教室（葛飾区立双葉中学校）

5. 株 主 還 元



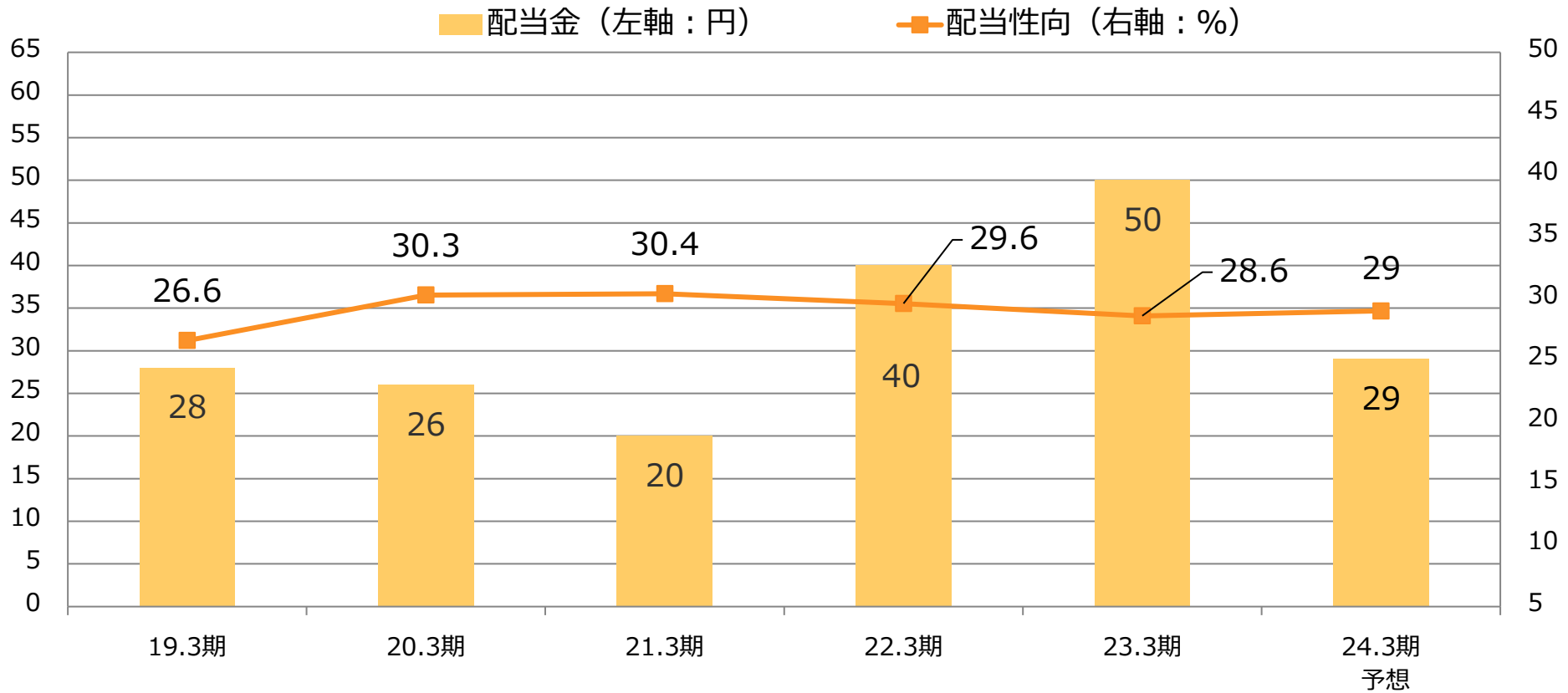
出来高/株価の推移(2023年9月13日現在)



◆ 配当利回り(会社予想) **3.9%** (396位/東証上場3,064社 9月13日時点)

※Yahoo!ファイナンス 配当利回り(会社予想) : 株式ランキングより

5-2. 配当について



- ◆ 連結配当性向を30%程度を基本とし検討
- ◆ 2023年3月期：過去最高の1株当たり**50円**を配当
- ◆ 2024年3月期：29円の配当を予想

※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部 03-3471-0463

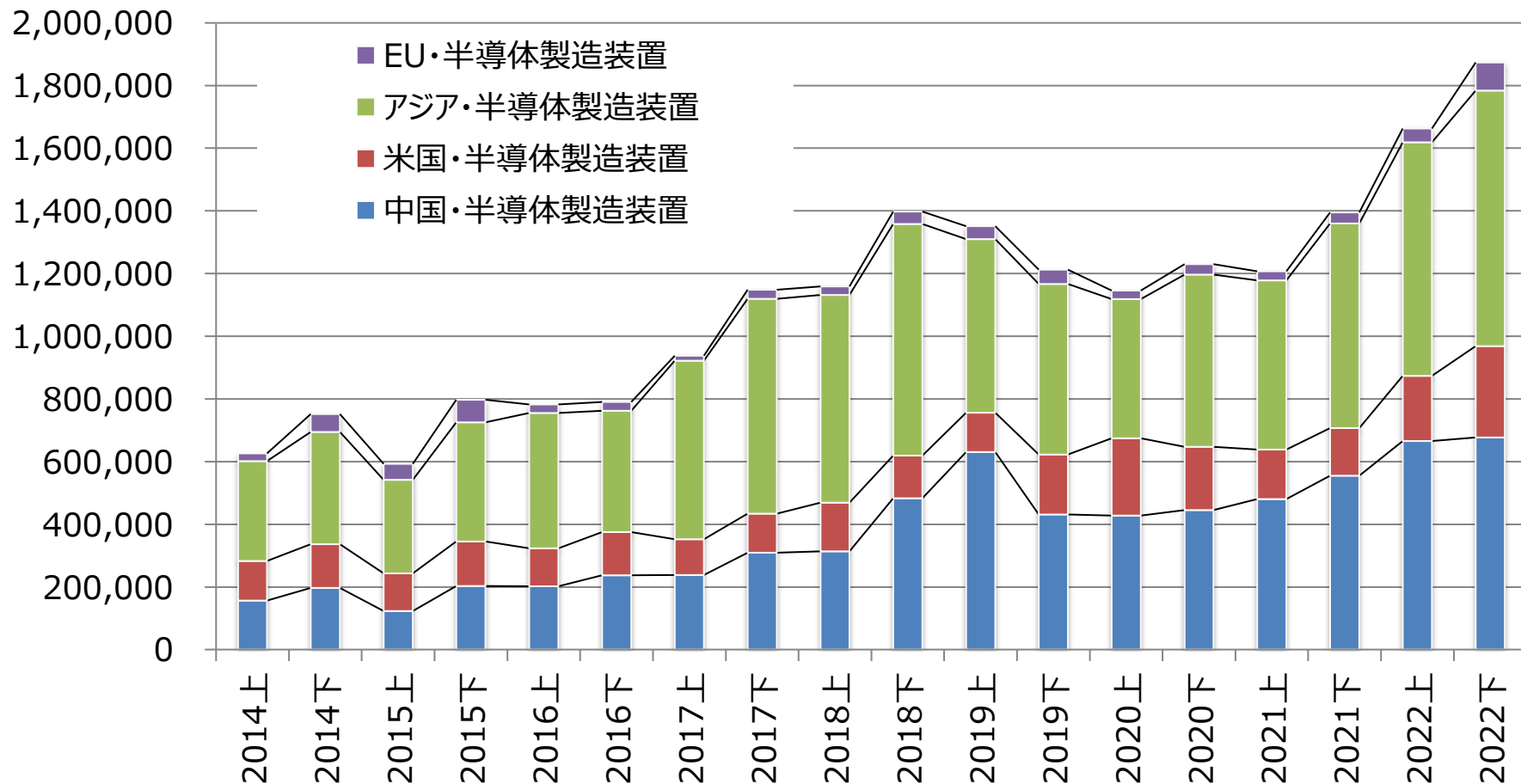
6. Appendix



品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器
半導体デバイス又は集積回路製造用の機器

(単位：百万円)

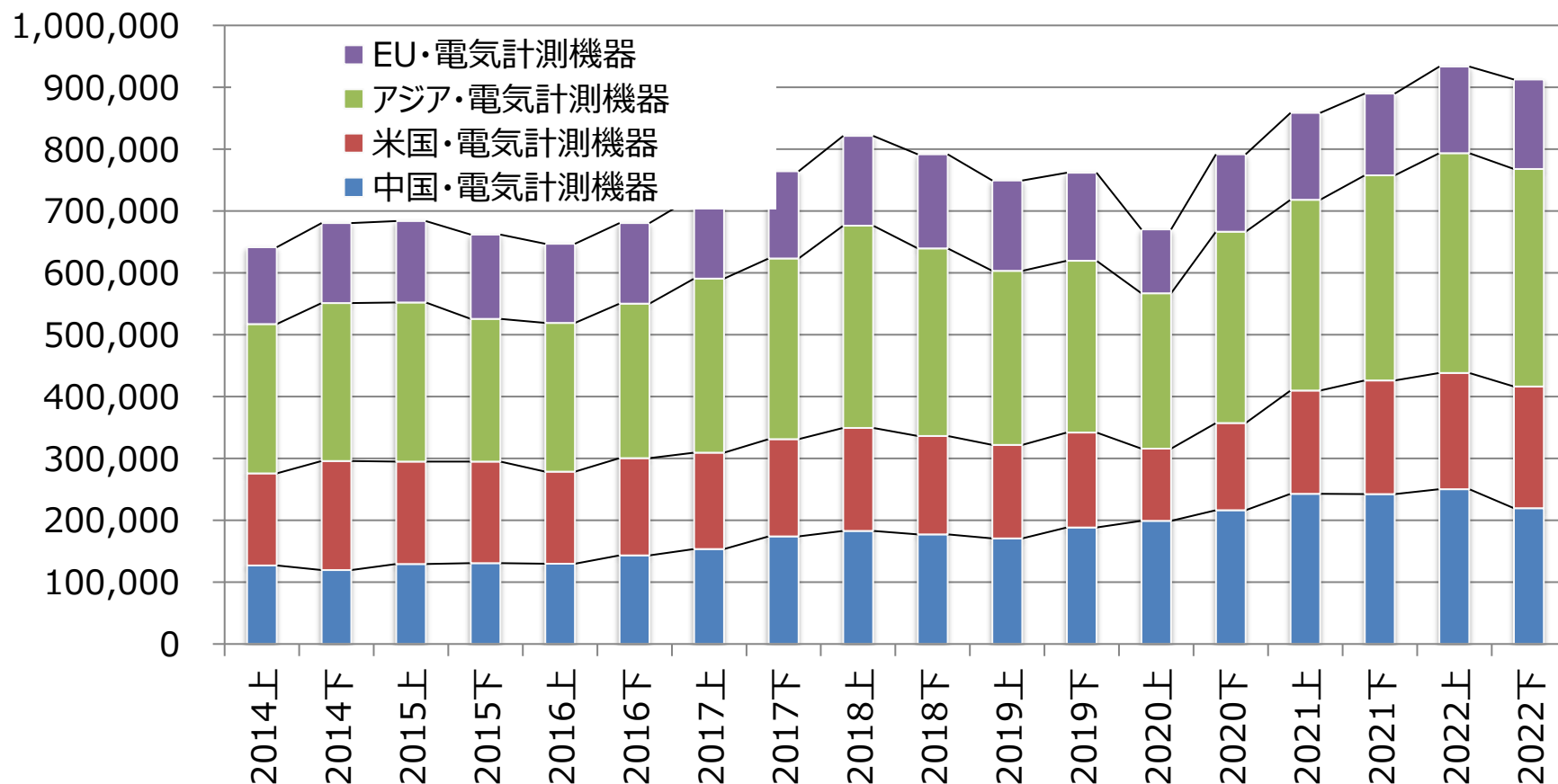


・半導体製造装置は2020年下期より、大幅な増加が続いている。

品目別輸出金額 年別推移 (電気計測機器)

※電気計測機器…マイクロメーター、電気用計器など

(単位：百万円)

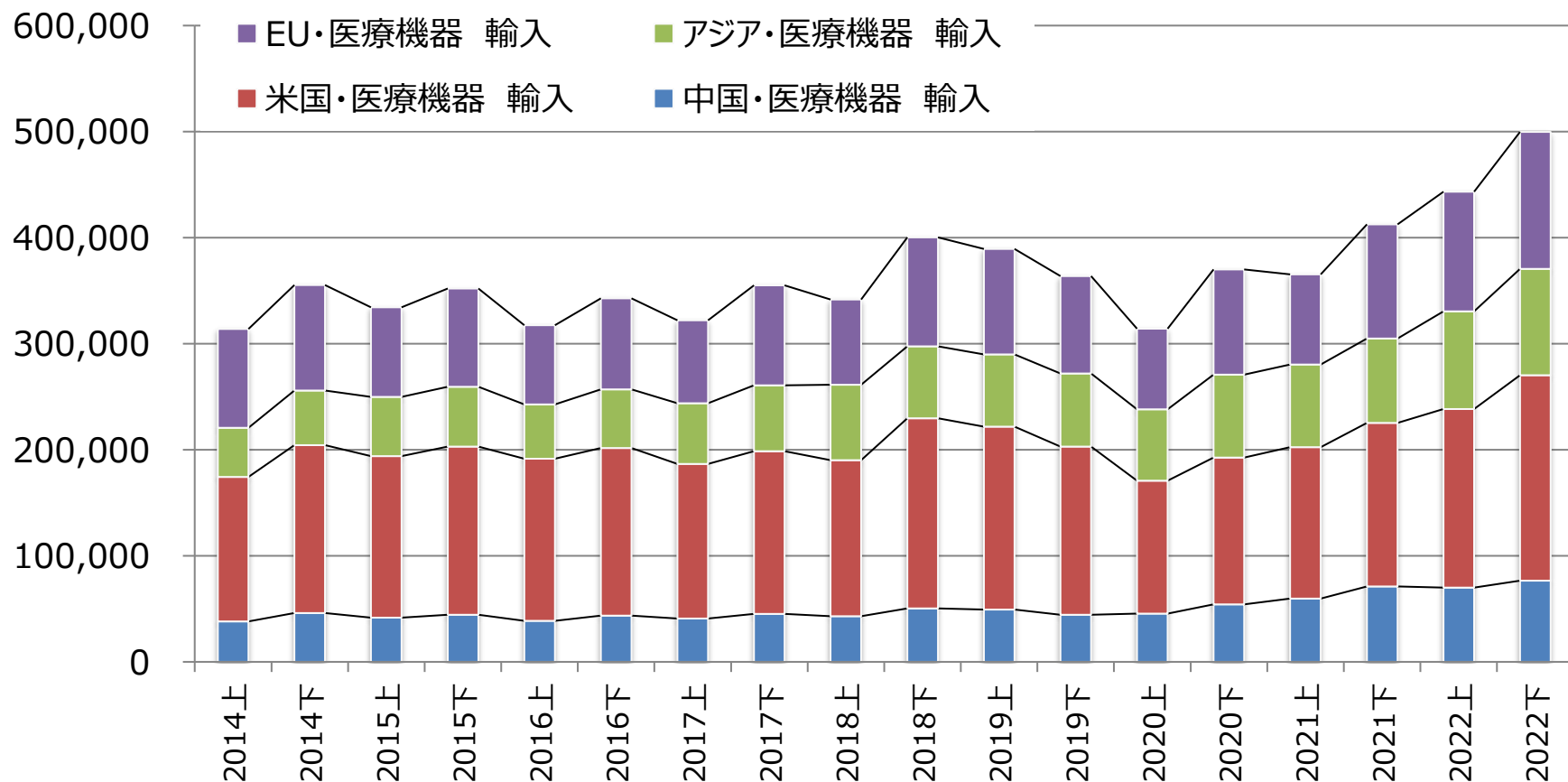


- 電気計測機器は2018年上期より減少傾向にあったが、2020年下期には増加に転じている。

品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など

(単位：百万円)

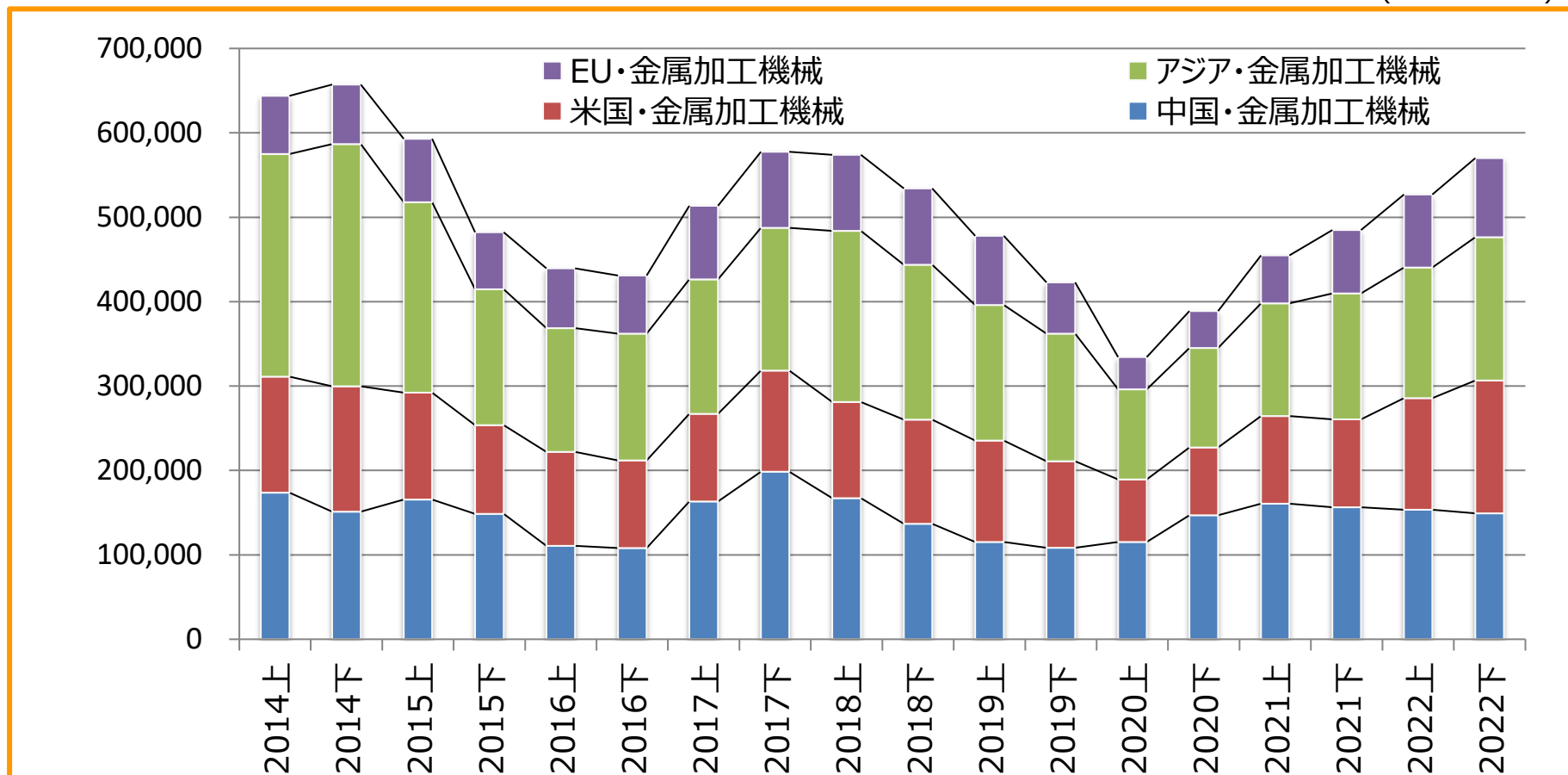


・ 2020年下期より回復に転じ、引き続き上昇傾向にある。

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械

(単位：百万円)



- 金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2017年下期をピークにダウントレンドに入っているものの、2020年上期には底を打ち、アップトレンドへ転換している。

【参考】 梱包とは ～サンリツの生い立ち～



包装 (広義)

サンリツが行っている
梱包は工業包装

工業包装



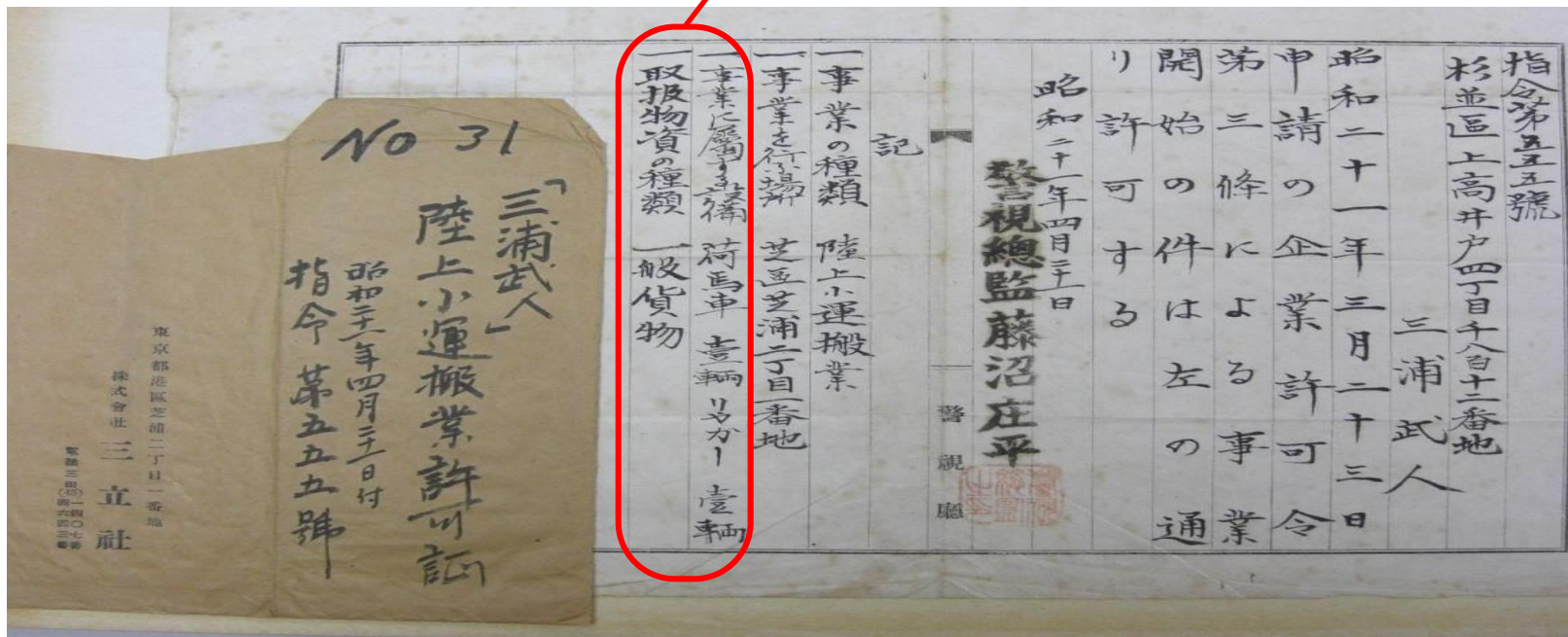
・輸送時における製品の保護を目的とした包装

商業包装



・小売業などで消費者への販売のために施す包装

始まりは、荷馬車1台、リヤカー1台

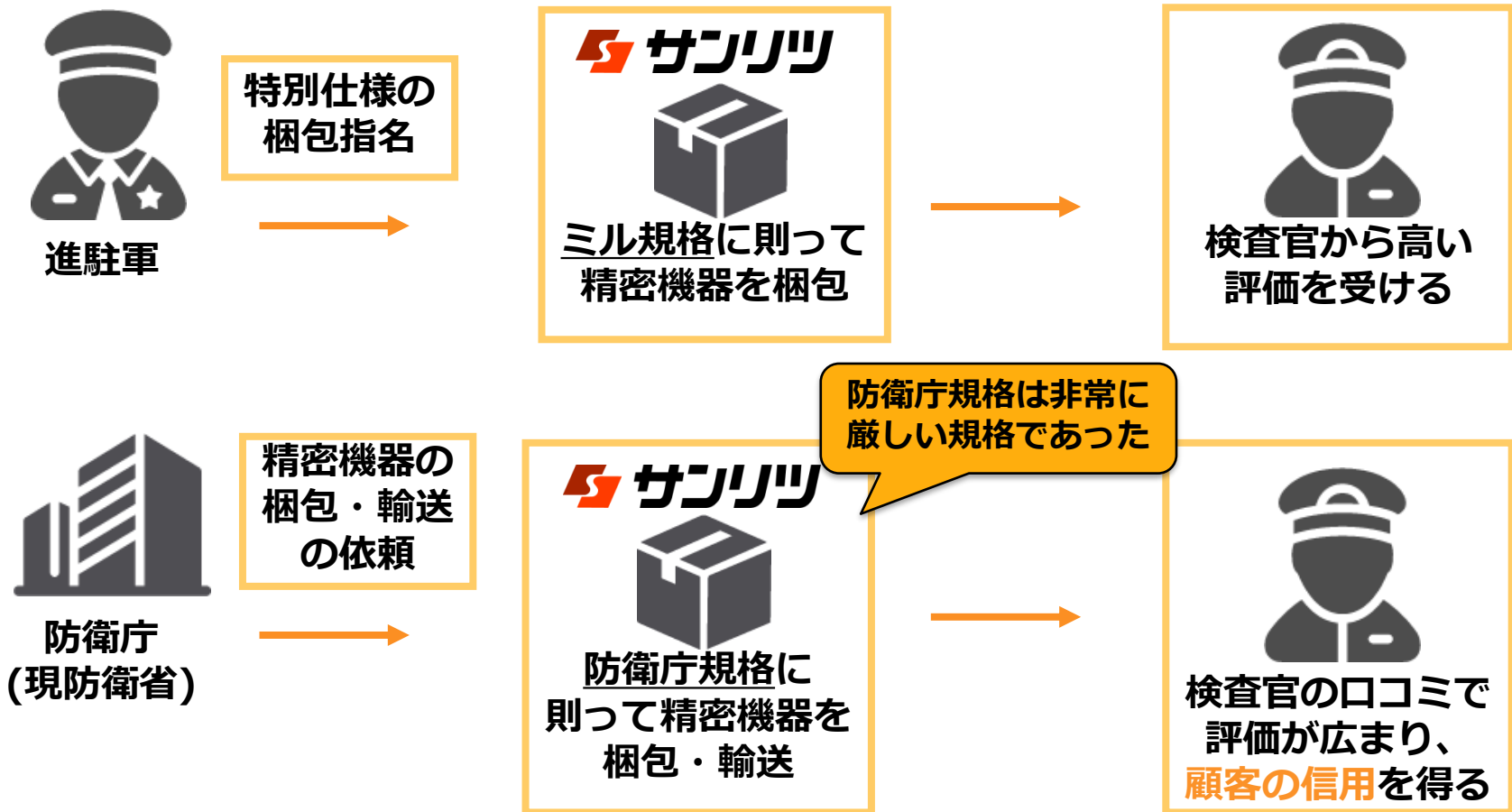


当時の事業環境

- ◆ 梱包は運送業サービスの中で「おまけ」のような立ち位置
- ◆ 運送業界には「日本通運」という大きな存在があった。

⇒ 大手では出来ない小廻りの利く仕事…それは**梱包**！

当社の財産である「信用」と「高い梱包技術」を築く



2代目社長が、現JIS規格立案に参画、規格を作り上げる

4. 主な沿革

年月	沿革
1948年3月	東京都港区芝浦に資本金180千円で(株)三立社を設立し、梱包、運送業を開始
1954年12月	本社を東京都港区に移転
1985年8月	(株)サンリツに商号変更
1987年9月	当社株式を「社団法人日本証券業協会東京地区協会」(現、(株)大阪証券取引)に店頭売買銘柄として登録、株式を公開
1994年5月	新本社ビル竣工(賃貸ビル事業開始)
1997年8月	Y-CC事業所(現、横浜事業所)を開設
1998年5月	成田事業所(現、成田事業所 第1倉庫)を開設
1999年3月	当社株式を東京証券取引所市場第二部に上場
2005年10月	成田第二事業所(現、成田事業所 第2倉庫)を開設
2007年3月	当社株式を東京証券取引所市場第一部に指定
2010年3月	SANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc.(現、連結子会社)を設立
2011年4月	八王子事業所を開設
2012年12月	京浜事業所を開設(旧事業所を全面建て替え)
2013年12月	山立国際貨運代理(上海)有限公司(現、連結子会社)を設立
2022年4月	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所の市場第一部からスタンダード市場に移行

① 保護性

最も経済的に機能を
発揮できるか

② 作業性

製造工程のレベルに
合っているか

⑤ 廃棄処理性

包装資材の廃棄処理が
容易にできるか

④ 販売促進性

お客様にとって、包装が
開けやすい形になっているか

③ 荷役性








現場で商品の取扱い
がしやすいか



5. 製品や部品に合わせた梱包形態を提供

軽量物

重量物

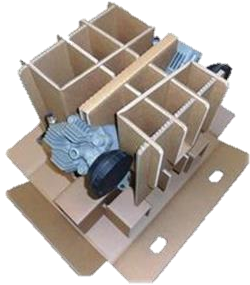
小型製品	中型製品	大型製品	超大型製品
<ul style="list-style-type: none">・通信機器・電子部品、製品 など	<ul style="list-style-type: none">・各種パーツ類・電子製品・医療機器 など	<ul style="list-style-type: none">・医療機器・無線通信機器・金型 など	<ul style="list-style-type: none">・工作機械 など
<p>【段ボール梱包】</p>  	<p>【強化段ボール梱包】</p>  	<p>【木枠・木箱梱包】</p>  	<p>【鋼材梱包】</p> 

ワールドスター賞※4度受賞

※世界包装機構 WPO(World Packaging Organisation)のパッケージングコンテスト



- ◆2017年受賞
検品工程低減/RFIDタグを利用したリターナブルBox
 - ・リターナブルによる廃棄段ボール削減⇒環境負荷低減
 - ・RFIDタグによる資産管理工数の削減



- ◆2018年受賞
強化段ボールによる梱包作業及び環境負荷の低減
 - ・木の梱包をALL段ボールへ
 - ⇒一人で組み立て、作業工数従来比66%削減
 - ⇒リサイクル可能、環境負荷低減



- ◆2021年受賞
塗装乾燥時間短縮対応アルミホイール梱包箱
 - ・コーナー固定材とスペーサーを用いた梱包方法に仕様変更
 - ⇒修理表面部分に梱包材が接触しないため、塗装乾燥を待つことなく梱包でき、当日出荷が可能
 - ⇒納品までのリードタイムを1日短縮



- ◆2023年受賞
工数削減・環境負荷低減を目的とした緩衝スペーサーの開発
 - ・エア緩衝材から繰り返し使用可能なスペーサーへ
 - ⇒毎月600㎡分のゴミの削減
 - ⇒梱包時間を33%削減

投資家の皆様に必要な情報は「個人投資家の皆様へ」のページに掲載されています。

今後も内容の充実を図るとともに、わかりやすく、最新の情報を発信して参りますので宜しくお願いいたします。

URL
<https://www.srt.co.jp/ir/investor/>



株主になる3つのメリット



より理解を深めていただくために

